

回覧、ほうせん

太田市立宝泉中学校
学校通信 第15号
発行責任者 添田 良之

多くを学びました、性教育講演会

性に関する情報があふれる中で、今回の授業を通して、自分たちの心や体に関する正しい知識を身につけ、深く考える機会にしてほしいという思いで、2年生を対象として実施しました。

講師に、東京福祉大学の准教授さんをお招きし、妊娠の仕組みや性行動を選択したことによって起こる様々な感染症について、助産師時代の経験談を交えながらお話しいただきました。他人事ではなく、自分に起こりうる問題として、真剣に話を聞く生徒の様子が印象的でした。中学生の今だけでなく、将来にわたって自分や周りの人たちを守り、幸せな生活を送るための貴重な1時間になったと思います。



講演を聴いた生徒の感想から

☆今回、性教育の授業を受けて、性欲は恥ずかしいものではなく、あって当たり前ということを知りました。また、子どもを作る時期はまわりの人に受け入れてもらい、うれしくさせられる時期がいいと聞いたときはとても納得しました。将来に役立つ授業で良かったと思います。

☆僕は保健の授業で少し学習した程度であまり詳しいことは知らなかったので、今回知ることができて良かったです。性行為をするということは、相応の責任が伴うことを知ったので、気をつけていきたいと思います。

資源回収へのご協力をお願いいたします

例年、「親子資源回収」を行っていましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で実施することは難しくなりました。そのような状況ですが、宝泉中学校では地域の方々のご協力を得ながら日常的な資源回収を行っています。



学校周辺のフェンスに外からアルミ缶を回収できる場所があります。また、校内の西門付近には、大きなアルミ缶回収かごと段ボールや雑誌、古新聞を収納できる倉庫も設置してあります。資源を学校にお持ちいただければ、いつでも回収ができるように準備しています。

地域をまわり、地域と学校が一体となった資源回収を行うことが望ましいところですが、新型コロナウイルスの影響が心配される限りは実施できません。環境問題解決のためにもご協力をお願いいたします。

待ちに待った部活動再開!

「群馬県社会経済活動再開に向けたガイドライン」の警戒度が「4」となり、12月19日から1ヶ月以上部活動を休止していました。休止によって、部活動に力を注いでいた生徒にとっては、体力や意欲の低下などが心配されるため、1月26日より、部活動を段階的に再開しました。ただし、平日の放課後、1時間程度の活動から始めます。

1ヶ月ぶりの活動ですので、しばらくは基礎的な練習を中心として行います。活動への参加に関しては、生徒及び保護者の皆さんの判断に委ねます。土日、祝日の活動は、2月8日(月)までは控えていきます。対外試合や練習試合など校外での活動もしばらくは行いません。

手洗い、共有部分の消毒、マスクを外しての会話を控える、大声を出さない、ソーシャルディスタンスを保つなどのコロナ対策を講じたうえでの再開です。全国・群馬県・太田市等の緊急事態宣言等が発出された場合や校内の感染状況により、再度休止する場合があります。1日も早くコロナが終息し子どもたちが思い切り部活動に打ち込める日々が来ることを願います。



宝泉中環境改善への取組—生徒会活動—

群馬県では、フードロス削減を目指した活動を推進しています。県のホームページには、「食品ロスは、貴重な食品資源を浪費するだけでなく、環境負荷の増大にもつながります。」と記載されています。環境改善のためにも食品ロス削減は有効な取組であるといえます。

本校では、生徒会本部役員と学級委員が中心となって、「一口プロジェクト」という取組を実施しています。少しでも残食を減らせるように、「苦手な食べ物でも一口は食べてみよう」、「1口分でもいいからおかわりをしてみよう」とチャレンジすることを目的とした活動です。取組状況を確認し、残量の少ないクラスは、生徒会の掲示板で紹介しています。生徒の皆さんの協力により、残量は少なくなっています。食品ロスを減少させて、環境改善につなげていきます。



生徒たちの活躍の様子

太田市読書感想画コンクール

指定図書の一部入選 1年生女子
自由図書の部入選 2年生女子

